※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１３

令和５年度　(学)教養

教科	(学)教養	科目	(学)マイスタディ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	学校独自プリント　等						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、高校での授業の土台となる国語、数学、英語の基礎について学びます。
・義務教育段階の内容について、学びなおし、定着を図ります。
・実力試験の結果から AI による苦手分野の分析を行い、個別最適化学習による学習を行います。
・学びなおしについて、ノートにまとめながら進めるため、ノートの用意をしてください。
・授業のポイントや、気づいたことをノートにメモをしながら取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・基礎学力を獲得することの意義や価値を理解し、義務教育段階の内容の知識・技能を身につける
・自らの学力について分析し、苦手分野の理解を深めるとともに、知識を活用して思考する問を学ぶことで、深い学びへとつなげる
・主体的に自己の学習を進め、自らの課題を解決するために粘り強く学びに取り組む態度を養う

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	国語、数学、英語に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、工業の科目や、各科目の学びを進める上で必要となる知識及び技能に活用できる程度に概念を理解している。また、学習の過程において、知識を習得する一連の流れを学びの手法として得る。	国語・数学・英語の知識を活用して思考する問やワークを行うなかで、自ら考え、アウトプットする力を習得するなどして課題を解決する力を身につけている。 一連の流れの中で思考力・判断力・表現力が個人内到達度として、どのような変化をしているか、その変化量を測る	個別最適化学習を行う中で、知識を獲得することに対して主体的かつ粘り強く、試行錯誤しながら学びを進められるか。またその試行錯誤の結果として、自己調整しながら学習を進める力が身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、文章による評価によって、その成果を測る。個人内到達度による評価や個別最適化学習を行う特性上数字による評価は行わない。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	学びなおし①	第１回実力判定テスト 国語・数学・英語の3教科の学習内容について、第１回実力テストの結果から、苦手分野や学ぶべき内容を抽出し、個別最適化学習を行う。	a:　基礎的・基本的な知識を身につけ、学力の定着のための学びの手法を体得する。 b:基礎的な知識を活用して思考する問やアウトプット活動において思考・判断し、表現できる c:　主体的かつ粘り強く、試行錯誤しながら学びを進められることができる	実力テスト 小テスト 提出課題	実力テスト 小テスト 提出課題 アウトプット活動	アウトプット活動 振り返りシート
二学期	学びなおし②	第２回実力判定テスト 国語・数学・英語の3教科の学習内容について、第２回実力テストの結果から、苦手分野や学ぶべき内容を抽出し、個別最適化学習を行う。	a:　基礎的・基本的な知識を身につけ、学力の定着のための学びの手法を体得する。 b:基礎的な知識を活用して思考する問やアウトプット活動において思考・判断し、表現できる c:　主体的かつ粘り強く、試行錯誤しながら学びを進められることができる	実力テスト 小テスト 提出課題	実力テスト 小テスト 提出課題 アウトプット活動	アウトプット活動 振り返りシート
三学期	学びなおし③	国語・数学・英語の3教科の学習内容について、個別最適化学習を進めるとともに、1 年間の学習内容について学力の定着を図る	a:　基礎的・基本的な知識を身につけ、学力の定着のための学びの手法を体得する。 b:基礎的な知識を活用して思考する問やアウトプット活動において思考・判断し、表現できる c:　主体的かつ粘り強く、試行錯誤しながら学びを進められることができる	実力テスト 小テスト 提出課題	実力テスト 小テスト 提出課題 アウトプット活動	アウトプット活動 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度